

## “Uzbekistan, Which you didn't know about”

### シルクロードの国、ウズベキスタンを紹介

大阪大学留学生 <sup>ジャスル</sup> <sup>シュクロフ</sup> Jasur Syukurov さん

かつて、シルクロードのオアシスとして栄えたウズベキスタン。その国からやってきた親日的な留学生、Jasur Syukurov さんが今回のゲストスピーカーです。多くの日本人には馴染みが薄い国のようですが、彼らは日本人とよく似た顔だちのうえ、同じアルタイ語族に属し身近さを感じさせる一方で、そのユニークな歴史と文化は日本とは大違い。波乱に満ちてエキゾチックです。講演のタイトルは“Uzbekistan, Which you didn't know about”。日本への留学の理由から始まり、自国の歴史と現在について語ってくれました。



#### 自己紹介

1990 年 7 月、ウズベキスタンのサマルカンド生まれ。首都のタシケント国立東洋学大学を卒業。4 年余り前に来日し、現在、阪大法学部で国際公共政策学を学んでいる。

日本に興味をもったきっかけは、世界的にヒットした NHK のドラマ「おしん」を見たこと。日本の文化と日本語にひかれた。

#### 基礎情報

正式にはウズベキスタン共和国。スタンは国のことで「ウズベク人の国」を意味する。カスピ海に近く、中央アジアの中心に位置し、カザフスタン、トルクメニスタン、アフガニスタン、タジキスタン、さらにキルギスと 5 か国と国を接し、国境を最低 2 回超えないと海に出られない「二重内陸国」。

面積は 44 万 7000 平方 km。人口は 3157 万人で中央アジア最大。少子化に悩む日本と違って若者があふれている。言語はウラル・アルタイ語族に属し、日本語と同様、主語の次に動詞ではなく目的語が来るなど、文法が似ている。うえ、類似した言葉も 400 ほどある。たとえば、ひざは tizza、疑問は gummon、「はい」は「ha」など。

#### ウズベク人と日本人の容貌比較



民族の構成はウズベク人 80%、ロシア系 5.5%、タジク（イラン系）系 5%、ほかに、カザフ、カラカルバク、タタール系など多数の民族が共存する多民族国家。ソ連がスターリン時代に強制移住させた朝鮮民族も約 20 万人いる。

容貌は同じモンゴロイドの日本人と似ているが、人種のるつぼと言われる通り、長い年月によるコーカサス系民族との混血が見られる。

宗教はイスラム 90%、東方正教会 5%、その他ユダヤ教や仏教徒などもいてモスク、教会、シナゴグ（ユダヤ教会堂）が併存している。



ウズベキスタン国旗

**国旗** 上の空色の帯は晴天と純水の象徴で、この色はかつてティムール帝国の覇者、ティムールが自軍の旗に使ったことがある。真ん中の白は平和と純粋さを、下の緑は豊かな自然を、そして、赤い線は生命力や決意を表すとされる。三日月はイスラムとウズベクの伝統に基づくもので、12 の星は天文学や暦からくる完全性と、国の 12 の州を表現しているという。

### 伝統食



Palov

人種のるつぼといわれるだけに、食文化も豊かだがごく一部を紹介。

Palov: 米と野菜、卵、ホースソーセージなど 7 つの具材を使ったピラフ様のもの。

Manti: 日本の豚まんに似ており、ビーフ、羊肉のマトン、ポテト、カボチャなどの具材を使い、ヨーグルトをつけて食べること



Non - traditional Uzbek bread

が多い。

Kabob: 中近東のケバブのような焼肉料理で、マトンの串刺しが多い。

Non-traditional Uzbek bread: 大きな皿型のナンのようなパン。バターや蜂蜜をつけて食べる。

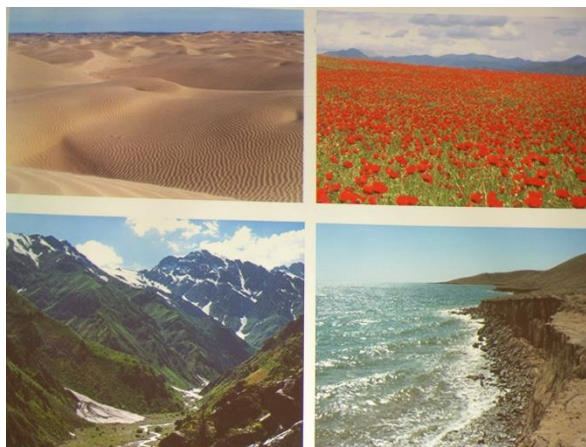
### 歴史

紀元前 6 世紀ごろ、ペルシャのアケメネス王朝が中央アジアに進出。同 4 世紀ごろギリシャのアレキサンダー大王が東征、その後もペルシャ系やトルコ系遊牧民などが侵入し、8 世紀からアラブ勢力が中央アジアに勢力を伸ばした。仏教、キリスト教、ソロアスター教（拝火教）が混在していたが、イスラム色が強くなった。13 世紀に入って、

欧州の一部まで征服した大モンゴル帝国に組み込まれ、その後、モンゴル系のティムール帝国（首都サマルカンド）が成立。15世紀ごろから遊牧ウズベク人が侵入し王朝を建てた。19世紀に入ってロシア帝国が中央アジアを征服、ロシア革命の後はソ連に組み込まれた。ウズベク人はソ連とともにナチスとの戦いに参加し、数十万人が犠牲になったという。

### 資源

資源が豊富で、特に天然ガスは年間600億～700億立方メートルを産出する。金は世界7位の80トン（年間）を産出。石油の埋蔵量も多い。綿花の生産が盛んで世界7位の生産量。輸出量は世界で5番目だ。

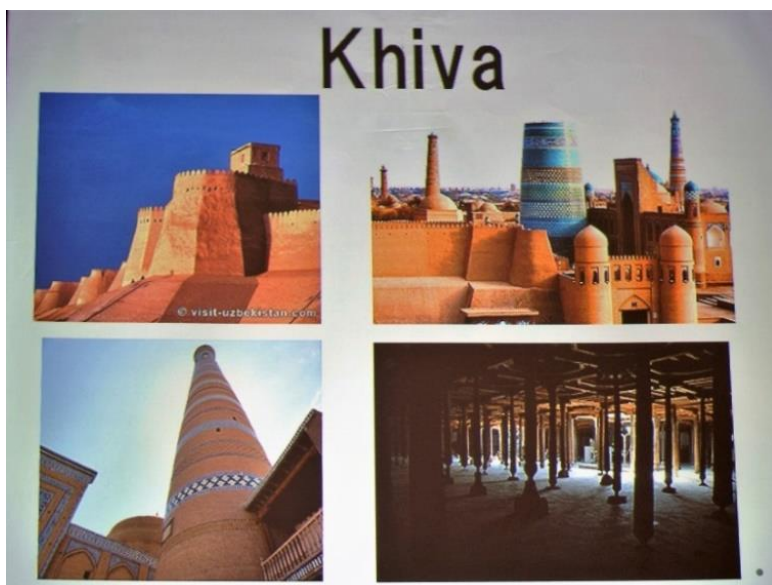


### 自然と四季

砂漠と山と湖と草原が広がる＝写真右二。日本と同じくらいの緯度に位置し、四季があり、緑と紅葉が美しく桜も咲く。山には雪が降り、日本と似た自然が見られる。

### 観光地

サマルカンド、ブハラ、ヒヴァ、タシケントなどの都市にはモスク（礼拝堂）、廟（先祖の霊を祀る場所）、要塞



など歴史的建造物が多く、世界中から観光客が集まる。

サマルカンドには、壮大で華麗な建築群が周囲に並ぶレジスタン広場、青い丸屋根が美しいビービーハーヌム・モスクなどがある。

ヒヴァは歴史博物館のような都市で3日かけても見切れないほどユニークな建物やカラフルな塔などがあり、ジャスルさんお勧めの観光地だ。10世紀ごろ建設のジュマ・モスク＝Khivaの写真の右下＝は200本以上の木製の円柱で支えられ、柱は中ほどが太く、精巧な木彫が施されている。

首都、タシケントには歴史遺産とともに、モダンなビル群が立ち並び、世界的に有名なホテルが入る国際ビジネスセンターがあり、ここにはJICA（日本国際協力機構）も



入居。東京タワーより高いテレビ塔が立ち、地下鉄が走る。

## スポーツ

国民の人気が高いのはサッカーだが、日本やオーストラリアとの試合では引き分けか負けが多い。柔道とよく似た kuyrash がある。上着の色は緑と青と決まっている。

kuyrash



## 日本との関係



日本との外交関係が始まったのはソ連が崩壊した翌年の 1992 年 1 月から。しかし、両国のつながりはそれ以前からあった。第二次大戦に勝利したソ連軍は多数の日本人を戦争捕虜としてシベリアに抑留。一部はウズベキスタンに連行し、建物、運河、道路建設などに従事させた。首都タシケントのナヴォイ劇場の建設も行ったが、この劇場が 1966 年のタシケント大地震でも無傷で残り、当時の日本人の優れた仕事ぶりが今でも非常に高く評

価されている。

最後にジャスルさんは、ウズベキスタンと日本との良い関係が永続することを願って、I will do my best to achieve this goal. Thank you very much、と締めくくりました。

## 質疑応答

今回は諸事情で時間がなく、質問は一つだけでした。

—貴国にあるアラル海は、琵琶湖の 70 倍もあったと聞いていますが、今は水が干上がって、水量はかつての 30%ほどに減り、魚は捕れず、土壌は塩害などの汚染により農業にも悪影響を与えていると聞いています。現状と対策はどうなっていますか。



A:アラル海は砂漠化しつつある。綿花の栽培や農業に必要なだということで、アラル海に注ぐアムダリア、シルダリア両河からの過剰な水利用が続いた。ダム建設により川の水量も減少した。対策は考えられているが、ソ連時代から独立後も、重要な綿花栽培などのため、水の使用を減らすことは難しく、対策には多額の費用と年月がかかりそうです。